

令和元年度  
(2019年度)

# 選挙管理委員会事務局の運営方針

<担当事務>

- (1) 選挙、国民審査及び国民投票の管理執行に関すること。
- (2) 選挙人名簿及び投票人名簿の調製に関すること。
- (3) 選挙の啓発に関すること。
- (4) 裁判員候補者予定者の選定に関すること。
- (5) 検察審査員候補者予定者の選定に関すること。
- (6) 直接請求に関すること。

<部の職員数>H31年4月1日現在

正職員	8名
再任用職員	1名
任期付職員	-名
非常勤職員	-名
合計	9名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

## 1. 基本方針

法令に基づいた「選挙事務の適正・円滑な執行管理」に努めるとともに、有権者や今後有権者となる若年層が政治や選挙に関心を高める啓発等の取り組みを進めます。

また、今年度予定されている第19回統一地方選挙（大阪府知事選挙、大阪府議会議員選挙、枚方市議会議員選挙）、参議院議員選挙、枚方市長選挙及び財産区議会議員選挙（菅原・氷室）の執行に向け、十分な事前準備を進めるとともに、投票しやすい環境づくりや職員のスキルアップに努めます。

## 2. 重点施策・事業

### (1) 選挙の公正かつ適正な管理執行

方向性	今年度予定されている選挙においては、公正、適正かつ効率的な選挙事務を進めていきます。
取り組み	各部署及び関係機関と連携を図りながら計画的に業務を遂行するとともに、公職選挙法に基づき、公正かつ適正な選挙事務の管理執行に努めます。 平成31年度当初予算：552,618千円（期日前投票・不在者投票事務経費を含む）

### (2) 選挙啓発事業の推進

方向性	特に若年層の投票率が低い状況にあることから、これから有権者となる中学生や高校生を対象とした出前授業等の実施や、新たに有権者となられた方に啓発はがきを発送するなど、若年層の投票率向上に向けた取り組みを進めます。
取り組み	教育委員会や中学校、高校と連携し、中学生や高校生を対象とした模擬投票も取り入れた出前授業や、小・中学校の児童、生徒に明るい選挙啓発ポスターコンクールの作品を募集するなど、政治や選挙に関心を持ってもらえるよう啓発事業を実施するとともに、新たに有権者となられた満18歳の方に対し、選挙啓発のはがきを発送し投票を促すなど、若年層を中心とした啓発事業を進めます。 《目標値》 出前授業の実施数：5校以上（平成30年度実績：4校） 平成31年度当初予算：599千円

### (3) 期日前投票所の増設について

方向性	投票機会の拡大と有権者の利便性及び投票率の向上を図るため、第19回統一地方選挙から期日前投票所を9箇所を増設するなどの投票環境の整備を行います。
取り組み	平成31年統一地方選挙から新たに商業施設2箇所（くずはモール、ピオルネ）も含め、期日前投票所を9箇所を増設します。今後も期日前投票所の事務執行の効率性を検討しながら、投票しやすい環境整備に努めます。
	平成31年度当初予算：46,048千円（各選挙費の期日前投票・不在者投票事務経費の合計）

## 3. 行政改革・業務改善

### ◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
情報の共有化による事務の効率化及びOJTによる職員のスキルアップ向上	事務局では、2つのグループ体制で業務を分担していることから、日々の朝礼及びミーティングによる業務の進捗状況の把握に努めるなど、効率的な業務遂行に努めます。また、グループ内でのOJTにより、職員一人ひとりの知識・能力の向上を図り、事務局全体の機能強化を図ります。

## 4. 予算編成・執行

- ◆選挙執行にかかる経費の更なる見直しを行うとともに、事務の効率化を進め、経費削減に努めます。

## 5. 組織運営・人材育成

- ◆日頃から情報収集に努め、選挙事務に関する知識・ノウハウを事務局内で共有し、事務局全体の機能強化を図ります。
- ◆公職選挙法の知識をより深めるために、府下各市の選挙管理委員会で組織する研究会に参加するとともに、職場での勉強会を開催し、適正な選挙事務に対応できるよう、職員力の向上に努めます。

## 6. 広報・情報発信

### ◆選挙啓発に関する情報発信

投票・開票結果については広報課と連携し、速やかな情報提供に努めます。また、選挙に関する各種情報を有権者にわかりやすく発信するとともに、様々な啓発事業に関する情報をホームページに掲載し、投票率の向上につなげます。